



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 サニックス

コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 宗政 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長

(氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8870

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (期間投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,027	81.7	1,056	—	1,015	—	830	—
25年3月期第1四半期	8,822	17.6	△115	—	△115	—	△170	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 827百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17.40	—
25年3月期第1四半期	△3.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	33,756	9,664	28.5	201.98
25年3月期	29,196	8,837	30.2	184.62

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,636百万円 25年3月期 8,808百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,100	87.5	2,825	438.8	2,800	450.4	1,680	342.9	35.21
通期	71,500	64.9	8,000	327.7	7,950	344.4	5,100	223.8	106.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	48,919,396 株	25年3月期	48,919,396 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,210,533 株	25年3月期	1,210,375 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	47,708,927 株	25年3月期1Q	47,709,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
部門別連結売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、政府による財政や金融政策への期待から円安、株高が進み、企業収益の改善、個人消費の回復が鮮明となり、一方で新興国の景気減速懸念など不透明な環境が払拭されない中、推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、平成24年7月よりスタートした「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、巨大なグリーンエネルギーマーケットが創出された産業用太陽光発電の普及に向けて、需要を広く喚起し、経営資源を集中することとし、もう一つの柱である廃プラスチックを加工した再生燃料による発電事業とともに、当社グループにおける重要な事業の柱にすることいたしました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、産業用P V (Photovoltaicsの略)事業部門においては、前第4四半期連結会計期間に本格的に施工を開始した「産業用太陽光発電システム」が新たに売上に加わり大幅な増収となりました。H S（ホーム・サンテーション）事業部門は、産業用太陽光に体制シフトを行ったことや、人員を減少させたことにより、住宅用「太陽光発電システム」が大幅な減収となりました。E S（エスタブリッシュメント・サンテーション）事業部門は、ビル・マンション等の事業者向けの「太陽光発電システム」が増収となりました。環境資源開発事業部門は、「プラスチック燃料収入」が増収となったことや、苫小牧発電所が安定稼働したことにより「売電収入」が増収となりました。その結果、グループ全体の売上高は16,027百万円（前年同期比81.7%増）となりました。

利益面では、産業用P V事業部門は、「産業用太陽光発電システム」の大幅な増収効果により黒字化かつ収益の柱となり、H S事業部門は、住宅用「太陽光発電システム」が大幅に減少したものの、利益率の高い「白蟻防除施工」、「床下・天井裏換気システム」等の既存商品の構成比が上昇したことにより増益となり、環境資源開発事業部門においては、全分野における増収効果により増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、営業利益は1,056百万円（前年同期は115百万円の営業損失）、経常利益は1,015百万円（前年同期は115百万円の経常損失）、四半期純利益は830百万円（前年同期は170百万円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

#### ①産業用P V事業部門

当第1四半期連結累計期間においては、前第4四半期連結会計期間に続き、主力商品となった「産業用太陽光発電システム」の売上高5,969百万円が新たに加わり、また太陽電池モジュール等の部材に係る卸販売が前年同期比387.7%増となりました。この結果、売上高は7,729百万円（前年同期の売上高は360百万円）となりました。

営業損益は、大幅な増収効果により、新聞等の広告宣伝費のコストの増加を吸収し、営業利益は645百万円（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

#### ②H S事業部門

当第1四半期連結累計期間においては、「白蟻防除施工」や「床下・天井裏換気システム」等既存商品は前年同期比53.2%増となりましたが、産業用P V事業部門への人員の移行等に伴い「住宅用太陽光発電システム」は前年同期比79.6%減となりました。この結果、売上高は3,114百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

営業損益は、利益率が高い既存商品の構成比が上昇したことにより、営業利益は601百万円（前年同期比276.7%増）となりました。

#### ③E S事業部門

ビル・マンション向け建物維持管理等の施工売上は前年同期比ではほぼ変わらずとなりましたが、「太陽光発電システム」は、事業所向けに販売を強化、施工体制も拡充したことにより、前年同期比402.6%増となりました。この結果、売上高は1,196百万円（前年同期比65.4%増）となりました。

営業損益は、増収効果により営業利益は31百万円（前年同期比175.2%増）となりました。

#### ④環境資源開発事業部門

「プラスチック燃料収入」は、搬入量が増加し前年同期比13.6%増となり、「売電収入」は、苫小牧発電所が安定的に稼働し前年同期比8.6%増となりました。「有機廃液処理」は、搬入量が増加し前年同期比7.1%増となりました。この結果、売上高は3,986百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

営業損益は、全分野の増収効果による生産性の向上とコスト低減により、439百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は33,756百万円となり、前連結会計年度末比4,560百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。負債合計は24,091百万円となり、同3,732百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加によるものであります。純資産合計は9,664百万円となり、同827百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益830百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末30.2%に対し、当第1四半期連結会計期間末は28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,559,160	3,556,666
受取手形及び売掛金	7,356,616	8,785,969
商品及び製品	60,036	82,735
未成工事支出金	260,009	113,371
原材料及び貯蔵品	2,577,620	5,451,392
その他	980,185	821,536
貸倒引当金	△142,104	△154,314
流動資産合計	14,651,525	18,657,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,890,399	1,869,891
機械装置及び運搬具(純額)	557,997	565,437
土地	8,889,529	8,889,529
その他(純額)	988,192	1,602,164
有形固定資産合計	12,326,117	12,927,021
無形固定資産		
のれん	625,370	597,368
その他	60,123	59,258
無形固定資産合計	685,493	656,627
投資その他の資産	1,533,173	1,515,329
固定資産合計	14,544,785	15,098,977
資産合計	29,196,310	33,756,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,459,789	7,399,383
短期借入金	3,338,000	4,392,000
未払金	3,166,433	3,541,320
未払法人税等	362,883	392,780
引当金	83,018	31,095
その他	2,462,943	2,738,184
流動負債合計	14,873,068	18,494,765
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	2,819,551	2,899,952
退職給付引当金	1,419,934	1,431,234
役員退職慰労引当金	179,756	180,131
処分場閉鎖費用引当金	373,699	388,561
その他	643,103	646,958
固定負債合計	5,486,044	5,596,838
負債合計	20,359,113	24,091,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
利益剰余金	△3,733,267	△2,902,946
自己株式	△1,610,889	△1,611,018
株主資本合計	8,697,677	9,527,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,147	74,590
為替換算調整勘定	32,356	33,594
その他の包括利益累計額合計	110,503	108,185
少数株主持分	29,016	28,675
純資産合計	8,837,197	9,664,730
負債純資産合計	29,196,310	33,756,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,822,722	16,027,570
売上原価	6,268,556	11,305,599
売上総利益	2,554,166	4,721,970
販売費及び一般管理費	2,669,741	3,665,591
営業利益又は営業損失(△)	△115,575	1,056,378
営業外収益		
受取利息	1,406	1,298
受取配当金	8,676	4,628
受取地代家賃	17,017	18,760
その他	15,333	18,628
営業外収益合計	42,433	43,315
営業外費用		
支払利息	41,895	42,557
支払手数料	17	18,861
為替差損	—	22,218
その他	753	616
営業外費用合計	42,666	84,255
経常利益又は経常損失(△)	△115,808	1,015,439
特別損失		
固定資産除却損	503	—
特別損失合計	503	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△116,312	1,015,439
法人税、住民税及び事業税	51,664	188,382
法人税等調整額	3,059	△2,923
法人税等合計	54,723	185,459
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△171,036	829,980
少数株主損失(△)	△419	△340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170,617	830,320



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△171,036	829,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	833	△3,557
為替換算調整勘定	—	1,238
その他の包括利益合計	833	△2,318
四半期包括利益	△170,203	827,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,784	828,002
少数株主に係る四半期包括利益	△419	△340

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用PV 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	360,859	4,140,839	723,326	3,597,698	8,822,722	—	8,822,722
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	360,859	4,140,839	723,326	3,597,698	8,822,722	—	8,822,722
セグメント利益 又は損失	△38,418	159,565	11,468	294,409	427,026	△542,601	△115,575

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用542,601千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用PV 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,729,743	3,114,760	1,196,598	3,986,467	16,027,570	—	16,027,570
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,729,743	3,114,760	1,196,598	3,986,467	16,027,570	—	16,027,570
セグメント利益	645,238	601,158	31,560	439,320	1,717,276	△660,897	1,056,378

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用660,897千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

品目	期別	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
			産業用太陽光発電システム	kW	—	—	22,530	5,969,715
太陽光発電システム卸販売	kW	1,222	360,859	10,556	1,760,027	9,334	1,399,168	
産業用PV事業部門計	kW	1,222	360,859	33,086	7,729,743	31,864	7,368,884	
太陽光発電システム	kW	7,924	2,430,759	1,712	494,938	△6,212	△1,935,820	
白蟻防除施工	千坪	125	703,717	187	1,027,940	61	324,222	
床下・天井裏換気システム	—	—	271,020	—	462,079	—	191,058	
基礎補修・家屋補強工事	軒	398	186,385	617	290,151	219	103,766	
その他	—	—	548,956	—	839,651	—	290,694	
H S 事業部門計	—	—	4,140,839	—	3,114,760	—	△1,026,078	
太陽光発電システム	KW	301	119,319	1,981	599,707	1,680	480,388	
防錆機器取付施工	本	112	149,719	70	133,101	△42	△16,618	
建物給排水補修施工	—	—	211,224	—	261,159	—	49,935	
建物防水塗装補修施工	—	—	74,128	—	59,131	—	△14,997	
その他	—	—	168,934	—	143,499	—	△25,435	
E S 事業部門計	—	—	723,326	—	1,196,598	—	473,272	
プラスチック燃料	t	92,194	2,137,029	102,977	2,427,773	10,783	290,743	
売電収入	—	—	752,778	—	817,497	—	64,718	
有機廃液処理	t	30,655	412,303	32,000	441,670	1,344	29,367	
埋立処理	—	—	151,442	—	154,018	—	2,575	
その他	—	—	144,144	—	145,507	—	1,363	
環境資源開発事業部門計	—	—	3,597,698	—	3,986,467	—	388,769	
売上高計	—	—	8,822,722	—	16,027,570	—	7,204,847	

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。